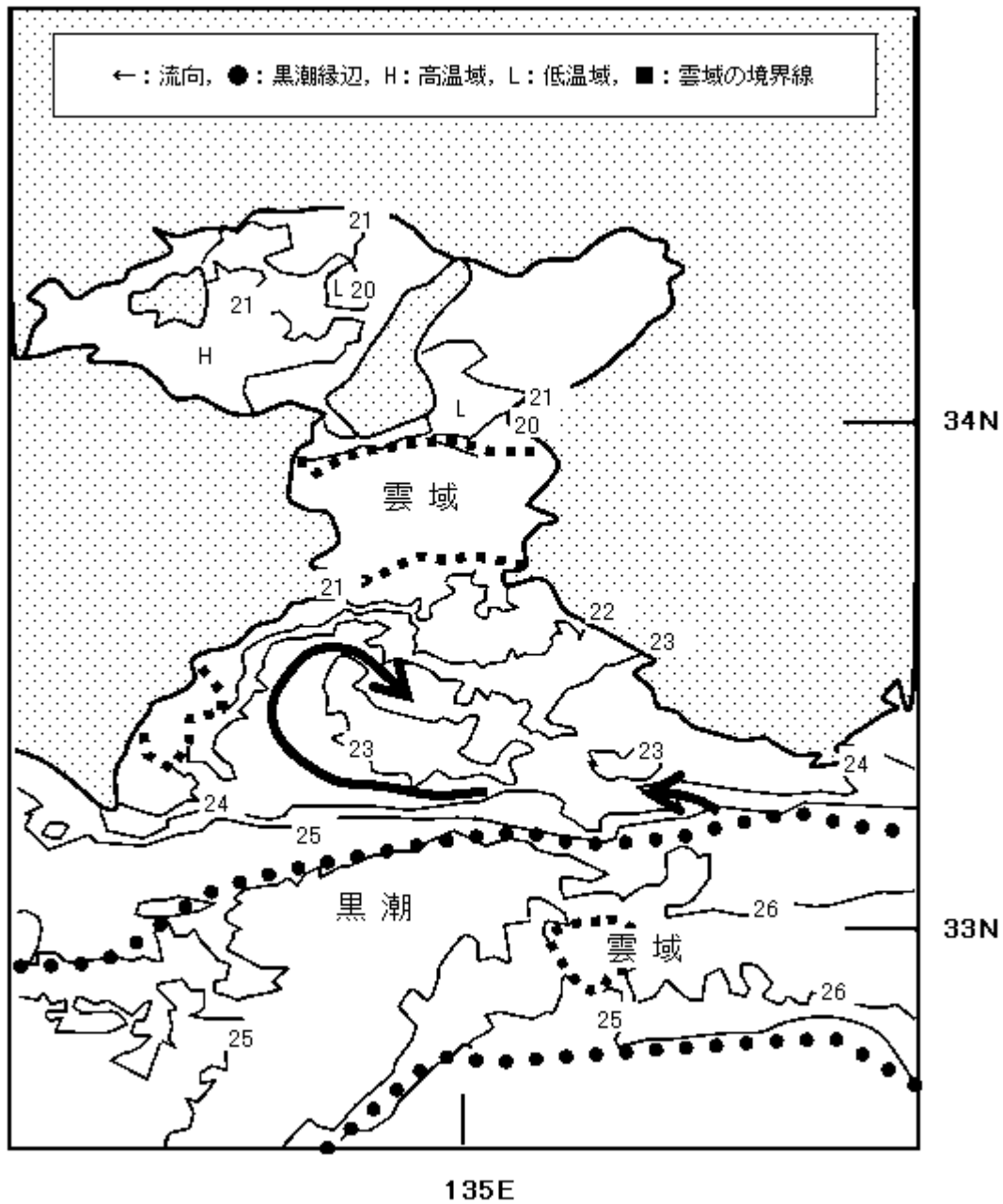


1. 海況の経過

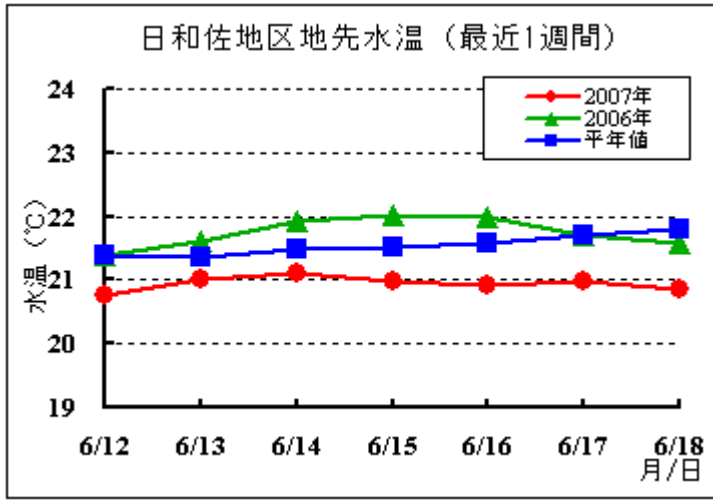
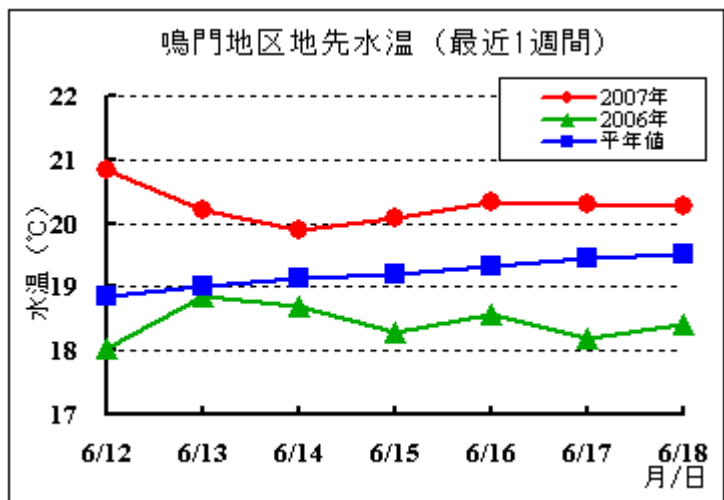
6/18 発行 海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸している。



上に水産研究所ホームページに公開されている6月17日の人工衛星画像(漁業情報サービスセンター提供)を示した。表面水温は播磨灘が19~21℃、紀伊水道内部が雲のため詳細は不明であるが20~21℃前後の様様。外域が20~24℃である。潮岬と室戸岬で黒潮が接岸しており、紀伊水道外域中央部に23℃台の黒潮系暖水が時計回りに流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」~「高め」の19.9~20.8℃で、日和佐地区が「やや低め」~「平年並み」の20.8~21.1℃で、牟岐地区は「低め」~「やや低め」の20.6~21.1℃で推移した。



2. 漁況の経過

徳島県全域にアカクラゲ、ミズクラゲが発生している。紀伊水道ではミズクラゲの割合が高まっている。

小型定置網:海部沿岸で、マメ主体にマアジが 14.8トン(1日1隻あたり 228kg)、マイワシが 4.4トン(同 156kg)、ウルメイワシが 3.2トン(同 50kg)、キビナゴが 2.6トン(同 64kg)水揚げされた。やや減少傾向にあるもののマメアジと小羽主体のマイワシにまとまった漁獲が継続している。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にシイラが 3.6トン(同 512kg)、大主体にマアジが 2.6トン(同 374kg)、小主体にスルメイカが 0.6トン(同 86kg)、大主体にイサキが 0.5トン(同 72kg)水揚げされた。

釣り:海部沖合で、大主体にシイラが 0.9トン(同 150kg)、紀伊水道でタチウオが 0.6トン(同 26kg)水揚げされた。カツオ漁は依然低調に推移している。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが 31.3トン(同 316kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)6月7日～6月13日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻あたり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	65	14,839	228	マメ主体
		マイワシ	28	4,358	156	
		ウルメイワシ	63	3,150	50	
		キビナゴ	40	2,575	64	
大型定置網	海部沿岸	シイラ	7	3,585	512	大主体
		マアジ	7	2,621	374	大主体
		スルメイカ	7	605	86	小主体
		イサキ	7	507	72	大主体
釣り	海部沖合	シイラ	6	900	150	大主体
	紀伊水道	タチウオ	23	605	26	
パッチ網		シラス	99	31,275	316	

週間予報:

黒潮は室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の20～21℃、日和佐地先で「やや低め」の21～22℃で推移する見込み。

他県情報:

歌山県のひき縄でカツオが2.0トン(1日1隻あたり9kg)、釣りでイサキが2.0トン(同15kg)、パッチ網でシラスが6.9トン(同115kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、メジロが3.0トン、マアジが6.0トン、さば類が2.6トン、ウルメイワシが6.6トン、カタクチイワシが2.2トン、マルソウダが226.2トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上